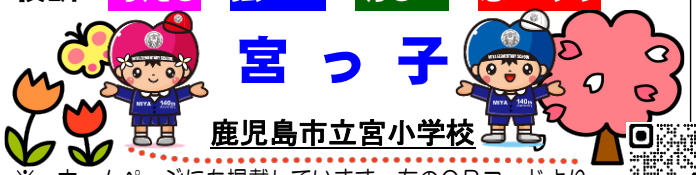
令和５年度宮小学校だより第７号（１０月号）

令和５年１１月６日

校訓　考える　強い　明るい　思いやり　の

宮っ子



鹿児島市立宮小学校

※　ホームページにも掲載しています。右のＱＲコードより→

「ありがとう」が飛び交う宮小に

校長　郷原　光徳

先日，健康ノートに記載された内容を拝見する機会がありました。家庭におけるお子さんの様子はもちろん，お子さんとのふれあいや何気ない会話から家庭教育の状況などを知ることができました。学校で見せる子供の姿と家庭における子供の姿には違いがあると理解していますが，書かれた内容から心の温かさを感じた次第でした。

さて，ノートに書かれた内容を見て多いなあと感じたワードがありました。それは，「ありがとう」でした。「～をしてくれた助かった，ありがとう」や「あなたのお陰だよ，ありがとう」等，たくさん見つけました。保護者のみなさまがお子さんに「ありがとう」と声にして言葉を掛けていらっしゃることに感銘を受けました。なぜなら，「ありがとう」を聞いた子供たちは，嬉しいという思いはもちろん，自分は家族の中で役立っているという気持ちや，次も頑張ろうとやる気が高まるでしょう。また，その言葉を通して心が満たされ，前を向いて生活しようとする力が沸くと思ったからです。もちろん，「すごいね」や「さすがだね」の言葉もありますが，これは評価の言葉で子供によっては評価が目的になって親の顔色を優先してしまう恐れもあるとか。私もよく使うのですが，その意味ではありがとうの感謝の言葉はとても深くて大切な言葉に思えます。

パナソニックの前身である松下電器創業者で経営の神様と言われた松下幸之助さんが，自社の就職面接で必ず尋ねていたことがあるそう。それは「あんさんは運がよろしいですか」という質問。その理由には諸説ありますが，運があると思う人は，周りに対していつも感謝を忘れず人の出会いを大切にしている。そんな人がいる会社はいい事業ができる。逆に自分を不幸と思う人は，何事も不幸を人のせいにする。そんな人にいい仕事などできない。そして，どんなに優秀でも採用はしなかったそうです。

この感謝の心をもつことのメリットには，「憤り，妬み，後悔，心の落ち込み」といった幸福から遠ざける感情を抱かなくなるとも言われています。つまり，「ありがとう」が家庭内で発せられる環境があることの効果は大きいと考えます。そして，それを保護者のみなさんが子供たちに多くかけてくれればくれるほど，子供たちも真似して素直に言葉を発し，よりよい人間関係を築く一助になると考えます。

保護者のみなさんから「ありがとう」という言葉を掛けられた子供は，友達に対しても，自然と「ありがとう」と返すことでしょう。子供たちは大人の影響を受けて成長します。ありがとうの言葉がいっぱい生まれる宮小学校にと思います。

今月の１枚「校歌音源リニューアル収録」

作文朗読とともに校歌の音源も収録（４年生）。近日リニューアルされます。

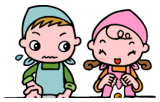
11月　行事予定

７日(火)	授業自由参観(午前)，給食試食会
８日(水)	授業自由参観(午前)，AEA,市陸上記録会(6年選手)
９日(木)	移動図書，ＡＥＡ
１０日(金)	MBCラジオみんなみんなにありがとう (学校紹介)12：20～
１１日(土)	学習発表会(9：20～)，ＰＴＡバザー(12：00～)
１３日(月)	地震避難訓練，小中連携研修会（宮小） 「みんなみんなにありがとう」出演(OOOOさん)12：20～
１４日(火)	チャレンジウィーク(～２０日) 「みんなみんなにありがとう」出演(OOOOさん)12：20～
１５日(水)	特別校時，保護者との教育相談，ＡＥＡ 「みんなみんなにありがとう」出演(OOOOさん)12：20～
１６日(木)	ＡＥＡ，保護者との教育相談 「みんなみんなにありがとう」出演(OOOOさん)12：20～
１７日(金)	特別校時，保護者との教育相談
１８日(土)	さつまっ子育成市民大会(宮校区発表)，子ども食堂「宮っ子」
１９日(日)	吉田地域運動会
２１日(火)	持久走大会前健康診断(希望者)
２２日(水)	ＡＥＡ，保護者との教育相談
２４日(金)	持久走大会試走
２９日(水)	特別校時，ＡＥＡ，薬物乱用防止教室(3年，5年)
３０日(木)	移動図書，ＡＥＡ，市小学校音楽会(3年，4年)

12月　行事予定

１日(金)	明るく楽しい学校づくり週間(～9日) 宮校区「みんな笑顔であいさつ運動」，移動図書
２日(土)	ＰＴＡ忘年会(18：30～宮西公民館)
５日(火)	特別校時
６日(水)	特別校時，ＡＥＡ，クラブ活動
７日(木)	清掃強調週間(～１２日)，特別校時，持久走大会， ＡＥＡ，家庭教育学級(１年保護者)，学級PTA
８日(金)	特別校時
９日(土)	土曜授業，収穫祭
１２日(火)	特別校時
１３日(水)	特別校時，ＡＥＡ，クラブ活動
１４日(木)	特別校時，ＡＥＡ，移動図書
１５日(金)	特別校時，門松づくり
１６日(土)	子ども食堂「宮っ子」(もちつき大会)
１７日(日)	校区鬼火焚き準備，学校後援会理事会
２０日(水)	ＡＥＡ
２１日(木)	ＡＥＡ
２２日(金)	特別校時，２学期終業式，大掃除

味覚の秋を満喫～ゴーヤ料理にチャレンジしました～



９月２９日(金)，４年生が，学校農園で栽培・収穫したゴーヤを使って，ゴーヤ料理作りにチャレンジしました。ゴーヤは「スタミナチャンピオン」の愛称で親しまれる吉田地域の特産品です。給食にも登場し，子供たちに人気の食材です。しかし，「ニガウリ」の別名からも分かるように，調理次第では独特の苦みが残ります。どうやって苦みを抑えるのかが調理のポイントでした。調理を始めた子供たちは，ゲストティーチャーの峯崎さんと益山さんのサポートやアドバイスを受けながら，協力して活動に取り組みました。約１時間後，「私達が作ったゴーヤ料理を食べてください。」と，自信ありげにもってきた和え物とゴーヤチップスの味は……。

【ゴーヤ料理を楽しむ４年生】

和え物は爽やか，ゴーヤチップスは程よい甘辛さ。最高の出来栄えでした。調理と試食を終え，「初めて自分たちで作ってみたけれど，とてもおいしかったです」，「家でも作ってみたいです」などと感想を話した子供たち。食と農のつながりや地域の特産品の素晴らしさについて，深く学ぶことができました。貴重な学びを支えてくださったゲストティーチャーの峯崎さんと益山さん，ありがとうございました。

実りの秋～稲刈りと脱穀を体験しました～

実りの秋を実感する体験活動として，５，６年生が稲刈りと脱穀を行いました。１０月６日(金)に行われた稲刈りでは，たわわに実った稲を鎌で刈り取ったり，刈り取った稲をひもで束ねて馬に干したりする作業に取り組みました。また，１０月２３日(月)に行われた脱穀では，天日乾燥させた稲を機械で脱穀したり，束ねられたわらを運んだりする作業に取り組みました。ごはんを当たり前のように食している子供たちにとって，そのルーツを知る貴重な体験となりました。

私たちの「当たり前」は，知らないところで誰かが行ってくださっている数多くの作業に支えられています。その「知らないところ」を体験的に知る学びは大変貴重です。そして，そのような学びの場が，伝統的に受け継がれている宮小学校と宮っ子たちは，とても恵まれていると言えます。今年度も，４月から，子供たちの貴重な学びを支えてくださった校区コミュニティ協議会のみなさま，ご協力とご支援をありがとうございました。

【稲刈り・脱穀の様子】

なお，本年度は，もち米に加えてうるち米も栽培しました。子ども食堂「宮っ子」に食材として提供するためです。また，もち米は，１２月１０日(土)の収穫祭や１２月１６日(土)の子ども食堂「宮っ子」で，もちに姿を変えます。それぞれどんな味がするのでしょうか。味覚の秋を満喫するイベントもまた楽しみですね。

学びを修め，一段とたくましくなりました～修学旅行～

１０月１８日(水)から１９日(木)の二日間，６年生が修学旅行に出掛けました。行き先は熊本県。中心的な活動は自主研修でした。事前学習をしたとは言え，計画と現実は違います。子供たちは，様々なハプニングに見舞われました。しかし，「自分たちが主役の修学旅行」を合言葉に，仲間と協議したり，地元の方に尋ねたりしながら解決し，全員が無事に集合場所の水前寺公園に到着できました。

【自主研修に取り組む６年生】

見知らぬ場所でのハプニングに正しい対処法はありません。仲間と協議する中で導き出した「納得解」で対応するしかありません。それで失敗したら……，次の納得解を導けばいいのです。

修学旅行は「学びを修める」旅行。様々なハプニングを仲間と協力しながら解決した子供たちは，「未知の問題への向き合い方」について学びを修めました。そして，一段とたくましくなって帰ってきました。これからの活躍が，ますます楽しみです。最後になりますが，この意義深い学びのために，６年生の保護者のみなさまには，多大なご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

読書の秋～充実した「読書月間」になりました～

１０月は校内読書月間でした。本校でも様々な取組を企画し，充実した読書活動が展開されました。保護者のみなさんの読み聞かせも，子供たちに大変好評でした。ご協力，ありがとうございました。

読書活動は，心を豊かにするだけでなく，学力を整える上でも重要であると言われています。毎月２３日の「親子一緒に読書の日」活動など，保護者のみなさまのご協力をいただいている取組の一つ一つが「心を整える」ことにつながります。これからも，学校とＰＴＡが一体となって，読書活動の充実に取り組んでいきましょう。ここでは，読書月間の取組の一部を写真で紹介します。

【ＰＯＰ作りに挑戦】

【保護者読み聞かせ】

【エプロンシアター(読書集会)】

【読書クイズ(読書集会)】

子供同士で話し合い，折り合いを付けました～研究授業～

１０月２３日(月)に第２回校内研究授業を行いました。本校では，話合い活動にスポットを当て，「話合い活動を充実させるために，どのような準備をすればよいか」，「子供同士で話し合い，折り合いを付ける力を高めるために，普段の授業をどう変えていけばよいか」について，研究・実践しています。今回は，その方法について評価し，改善点を見付けるための研究授業でした。

【話合い活動の様子（６年生）】

６年生の話合いは，タブレットＰＣを活用して提案したり，話合いのキーワードや意見の説得力に着目しながらまとめたりするなど，高学年らしい姿が見られました。このような姿は，話合い活動を繰り返すだけでは見られません。日々の授業において，理由や根拠を明らかにしながら考えを伝え合う活動を積み重ねた結果です。普段の授業で身に付けた力を話合い活動に生かし，話合い活動で身に付けた力を普段の授業に生かす。この「行ったり，来たり」を地道に繰り返していくことで，どんな困難な問題に対しても，話合い，折り合いを付けながら集団の「納得解」を導き出せる宮っ子。そのような子供たちを育成するために，これからも地道な取組を続けていきたいと思います。

２月に本校で開催される県特別活動研究大会では，３年生と５年生の話合い活動の様子を県内各地からいらっしゃる先生方に公開します。「日々の授業と話合い活動の『行ったり来たり』で子供一人一人にこのような力が付きます」ということを子供たちの姿で提案できれば最高です。

即興劇から，コミュニケーションのこつを学びました

１０月２６日(木)，即興劇鑑賞・体験活動がありました。即興劇は，最初の設定以外すべてアドリブ。ストーリーも台本もありません。しかし，講師の「ひろちゃん(片寄　広志さん)」と「あっちゃん(小田　篤史さん)」の演技は，本当にアドリブかと思うほど軽快で表情豊か。会場は爆笑の渦に包まれました。あっという間に３校時が終了し，４校時は，上学年を対象とした即興劇体験を行っていただきました。アドリブで演じる活動は高度に思われましたが，講師二人のサポートを受けながら，子供たちはその楽しさを味わうことができました。「ひろちゃん」と「あっちゃん」によれば，即興劇のこつは，「自分の思いが相手に正しく伝わるように，相手の受け止め方を考えて言葉や表情を選ぶ」こと。つまり，日常のコミュニケーションのこつと同じなのだそうです。

【即興劇体験の様子（上学年）】

社会の多様化が進むほど，コミュニケーションのトラブルは起こりやすくなります。なぜなら，「わたし」と「あなた」は，違うからです。子供たちが相手の立場や気持ちを想像し，適切な言葉や表情を選ぶことができるように指導を重ねつつ，「その手本は私達大人が示さなければ……。」と決意を新たにすることでした。

出演日時決定～MBCラジオ「みんなみんなにありがとう」～

ＭＢＣラジオ「たんぽぽ倶楽部」の名物コーナー「みんなみんなにありがとう」に４人の宮っ子が出演します。１１月１日(金)に収録を行い，放送日を待つばかりです。さて，４人は誰にどんな「ありがとう」を伝えるのでしょうか。開始時刻は12：20頃です。

１１月１０日(金)　宮小学校の紹介（教頭）
１１月１３日(月)　５年　〇〇〇〇さん
１１月１４日(火)　４年　〇〇〇〇さん
１１月１５日(水)　４年　〇〇〇〇さん
１１月１６日(木)　３年　〇〇〇〇さん

宮っ子の受賞記録～夏休みの出品作品より～

【令和５年度鹿児島県小学校理科に関する研究記録　県審査会入選】
３年　〇〇〇〇さん　「日なたと日かげできゅうりを育てよう」

今月の名文～夏休みの作文(市の審査会入選作品)より～

今月号では，市の作文審査会で入選となった１年生の〇〇〇〇さんの作文を紹介します（掲載スペースの関係上，平仮名を漢字に直しています）。

動物園

一年　〇〇〇〇

「まだ着かないの」と何回も聞いてしまったので、私はお母さんに怒られてしまいました。なかなか動物園に着かなかったからです。

夏休みに、お父さんとお母さん、私と妹で平川動物公園に行きました。家から遠いので、高速道路で行ったのですが、全然動物園が見えてきません。だから、「まだ着かないの」と言ったのです。

やっと動物園に着きました。車から降りると、すごく暑かったので、帽子をかぶり、水筒を持って行きました。でも、お母さんだけは、帽子ではなく日傘でした。

「いいなあ。私も日傘が欲しいな。」

とお母さんに言ったけれど、私はやっぱり帽子でした。

チケットを買って動物園に入ると、「アフリカの草原ゾーン」にシマウマやキリンがいました。すごく暑かったので、キリンは陰のところで葉っぱを食べていました。ダチョウは、歩き回りながら羽を広げていました。こっちを見ていたので、私の方に向かってくるんじゃないかと怖かったです。カバは、水浴びをしていて気持ちよさそうでした。思っていたよりも体が大きくてびっくりしました。

次に、「野生のイヌ・ネコゾーン」と「世界のサルゾーン」に行きました。トラやオオカミは、暑すぎたのか日陰にいて、ほとんど動かずにじっとしていましたが、サルはよく動いていました。マントヒヒが体育座りをしながら、私を見ていたのが面白かったです。

たくさん歩いてのどが渇いたので、インドクジャクのおりの近くで休憩しました。ものアイスクリームやフライドポテトを食べると、少し元気が出ました。

そのあと、「コアラ館」に行きました。コアラは木の上に座って寝ていました。木から落ちないのかなと心配になりました。

「コアラ館」を出ると「オーストラリアの自然ゾーン」にカンガルーがいました。立っているところを見たかったけれど、寝ているカンガルーばかりだったので、悲しかったです。

暑くて疲れたので、最後はコアラのバスとシロクマのバスに乗って、入口の近くまで戻りました。

お昼ごはんを食べた後は、遊園地みたいなところで、お父さんと飛行機の形をした乗り物に乗りました。高くなったり、下がったりして少し怖かったけれど楽しかったです。

動物園に着くまでに時間はかかったけれど、家族で久しぶりにお出掛けができて、とても楽しかったです。またみんなで行きたいなと思いました。

宮っ子の見守り，ありがとうございます

宮っ子の安全を守るため，宮校区コミュニティ協議会の方々は，青パトで巡回したり，コンビニエンスストア前の横断歩道に立ったり，１年生の下校引率をしたりしてくださっています。

地域の方によると，「最近，子供たちが『ありがとうございます』とお礼を言ってくれるようになったよ」とのこと。そんな嬉しいお話を聞くと，現場で直接伝えるべきお礼の言葉を，書面にてお伝えすることに心苦しさを感じますが，宮校区のみなさま，毎日本当にありがとうございます。そして，これからもよろしくお願いいたします。

好成績を収めました～なんこ大会～

１０月１４日(土)に吉田地区ＰＴＡなんこ大会がありました。本校からも参加し，３位という好成績を収めました。なんこ大会のねらいは，単位ＰＴＡ間のつながりの強化でしたが，「子供のために」をキーワードとした熱い語らいを通して，ねらいが達成されたことを実感しました。

これからの社会で求められる力は「異質な集団と相互に関わり合う力」，つまり，「つながり合う力」です。私達大人も，子供たちのために，学校・家庭・地域の「つながり合い，分かり合い，高め合い」を大切にしていきたいものですね。